

みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。



ひとこと

【*^*^*】
広報おうら12月号「シンボルマーク」を読んで

PN・花ちゃん

マークを見たことはあっても、何を意味しているのか、再確認することができました。
困っている人を見かけたら思いやりの気持ちを持って、言葉を掛けたり手助けをしたりすることが出来たらいいな、と思っています。

——伊勢田さん(上下西宿7区)
初めての妊娠。現在7か月。少し移動するだけで息切れがするなど、大変な思いをしながらも、妊婦生活を楽しんでいきます(笑)。

広報おうらで紹介されていた「思いやり駐車場」。妊婦も対象なんだ(ー)と知って、早速、利用証の申請をしに役場へ行きました。手続きは、とても簡単で5分ほどで終わりました。特に大型ショッピングセンターで利用することになると思います。出入り口に近い「思いやり駐車場」ですから、特に買い物帰りが楽になるな、と期待しています。
同じ妊婦の皆さんにも制度を知ってもらって、利用してもらえたらいいな、って思います。

袋の中に見つけた...

PN・たらばガニ

写真がたくさん載っているフォトパレットのコーナーが好きですが、一番のお気に入り「若者紹介」です。毎月大切に綴っています。

ある日、燃えるごみをステーションに捨てに行く、捨ててあるごみ袋の中に、広報おうらを見つけてしまっていました。

【役場企画課より】

広報おうらの役割は、その人にとって必要な情報を見つけてもらい、サービスを受けてもらうことにあります。ある人にとっては必要でも、ある人にとっては不必要なことがあることは承知しています。

だからこそ、毎号の中で、性別、年齢層に考慮し、さまざまなジャンルの話題を掲載できるように努めています。そして、不必要なことでも興味や関心を抱いていただけるように、企画内容やレイアウトを研究しています。

広報おうらを見ることで「この町に住んでよかった」と思ってもらいたい、広報おうらが「この町に生きた証になってほしい」。そんな思いで広報おうらを大切に作り続けます。
ちなみに、広報おうらは「燃えるごみ」ではなく、「資源ごみ」になります。貴重な資源として、また皆さんのお役に立てると信じています。



大野 江梨子さん・蒼真くん(1歳9か月)
(横町化楽・3区)

お腹にいるときから逆子を何度も繰り返し、ハイハイしたときもとにかく動く、今考えてみればずっと活発な蒼真。外で遊ぶときも、買い物に出掛けても、お母さんは目が離せません(笑)。よく動く分食べるのも大好き。パン一袋はぺろりと完食するほど(笑)。黒猫のぬいぐるみがマイブームで、寝るときも出掛けるときも一緒。一度無くしたときは大変だったね(笑)。これからも、元気に大きくなってね。

ORA TOWN Quiz 広報おうらクイズ

クイズに答えて GET しよう
問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

- 【今月の問題】
第1問 図書館の新サービス。まずはOOを設定しましょう!!
A.パスカード B.パスリード C.パスワード (ヒント 14~15ページ)
第2問 邑の森ホールで自慢の声を響かせよう。邑楽町○○自慢
A.大声 B.のど C.歌声 (ヒント 18ページ)

【アンケート】
Q1 広報おうらで取り上げてほしい企画や内容を教えてください
Q2 広報おうらに関する意見や感想を教えてください
応募方法 はがきに、答え(例:第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・
ひとことまたはアンケートの回答を書いて郵送する
あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 1月17日(当日の消印有効)

※当選者は広報おうら2月号で発表します。
【12月号の当選者】(応募数16通、全問正解15通)
常見蘭(7区) 大手敬子(16区) 原終晴(16区) 飯田茜(24区)
増尾春美(28区) 岡田勝司(34区) 長政夫(34区) 中村安子(34区)
本間美知子(34区) 篠崎行雄(町外) ※敬称略

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007 ☎89-0136 ✉koho@swan.town.ora.gunma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

俳句

月明かり宇宙空間起源照らす
あらた世の古希迎しはゆたり歩む
人絆しっかり結んで去年今年
冬風や写真の裏のはしり書き
神主のか細き声やどんど焼き
短日や亡父そっくりの爪を切る

神谷公太郎 登り来て古刹のみみじ色あふる
神谷 文江 出勤の十人十色落葉踏む
小林なみ子 令和流蝶ネクタイのお喰い初め
速水 克子 友の遊ぶ銀河鉄道一人旅
大川いく代 大気すんで短詩を詠んでる冬の月
吉田 和子 網張って孤独に生きる冬の蜘蛛

小貫 榮子 橋の上孫と眺める初日の出日本に災害くるなと念じ
中村 静江 「おばあさん」呼び掛けられてややショックヒアルロン酸欠乏症ね
真下 君子 菊花展に大賞受賞の厚物花軽トラ荷台に乗り凱旋す
砂川 登一 曇り日の暮れるに早し葉がくれに抽るは灯ともす如く色づく
西村 正一 我が道の夢ある暮らし中途にて視覚失せても明るく生きる
中島 弥市 葉月よりふんばって刈る狭し庭やつと片付き病身安堵

短歌

大塚 博司
曾我 公子
壽命 秀次
沼田とし子
小林 一男
持田 静江

投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ボエム ④短歌・俳句
⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

まちかど 情報板

○イベント

第18回 白鳥まつり
白鳥が舞う優雅な姿や愛嬌たっぷりのカモなどが見られます。

○就労

ハローワーク館林
「職業訓練(ハロートレ)説明会」
ハローワーク館林では、パソコン基礎、医療事務、介護関係などの知識や技能を習得して就職することを考えている人に対して、職業訓練ハロートレ(トレーニング)の受講をお勧めしています。
授業内容を紹介します。興味がある人は、お気軽に「参加ください」。

○講演会

精神保健講演会
日時 2月19日(金)午後1時30分~3時
会場 館林保健福祉事務所(館林市大街道)

○講演会

新春落語寄席
絆会では新春落語寄席を開催します。
日時 2月20日(土)
会場 午後2時開演(1時30分開場)
会場 福祉センター寿荘
出演 三遊亭歌橋(足利市出身・足利輝き大使、林家栄一)
入場料 前売券1,500円 当日券2,000円
問合せ 絆会事務局(橋本)☎88-4823(中継)☎88-00027

↑ 県緑化センター主催講座 ↓

講座	第6回緑化講座	日曜緑化講座	第7回緑化講座
日時	2月6日(水) 午前10時~正午	2月16日(日) 午前10時~正午	2月27日(水) 午前10時~正午
場所	県緑化センター	県緑化センター	県緑化センター
テーマ	家庭で楽しむシャインマスカットの育て方	この時期にやっておきたいフジの剪定	自分のできる剪定バサミ類の研ぎ方
定員	60人(先着順)	60人(先着順)	60人(先着順)
申込開始	1月20日(月)	2月3日(月)	2月10日(月)
申込・問合せ先	県緑化センター☎88-7188		

○就労

ハローワーク館林
「職業訓練(ハロートレ)説明会」
ハローワーク館林では、パソコン基礎、医療事務、介護関係などの知識や技能を習得して就職することを考えている人に対して、職業訓練ハロートレ(トレーニング)の受講をお勧めしています。
授業内容を紹介します。興味がある人は、お気軽に「参加ください」。

日時 1~3月の毎月第3日曜日
時間 午後2時
会場 ハローワーク館林館林市大街道
費用 授業料無料(テキスト一部有料)
問合せ先 ハローワーク館林☎75-8609

絆会では新春落語寄席を開催します。
日時 2月20日(土)
会場 午後2時開演(1時30分開場)
会場 福祉センター寿荘
出演 三遊亭歌橋(足利市出身・足利輝き大使、林家栄一)
入場料 前売券1,500円 当日券2,000円
問合せ 絆会事務局(橋本)☎88-4823(中継)☎88-00027

広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面



人もいない、資源もない、けれど日本には技術がある。その技術を生かし、人のためになることを生み出す。これが私の原動力です。

両親を高校生のときに亡くし、祖母に育てられ、全寮制の高校で学び、大学へ進学しました。貧しい生活をする中で、先輩や仲間から受けられた恩に感謝で一杯でした。紆余曲折を経て、石川島播磨重工業（現在のIHI）に就職。主に船の外燃機関の設計をしていました。

今の会社を設立したのが、平成5年でした。景気の波に左右されましたが、なんとかまで続けてこられたのも、多くの人から受けた恩のおかげかもしれません。だからこそ、人が困っていたら助けたい。この気持ちは常に持っています。

そんな中、ある縫製工場でおばあさんがミシンを2、3台並べ、縫う作業を目撃。そこでは針と布の間から煙を上げ、次のミシンへと作業を繰り返していました。それだけ労力をかけ、製品を作りますが、仕事は海外に取られてしまふというのです。悔しくて

たまりませんでした。

そこから、日本の技術を生かした縫製技術はできないものかと頭を悩ませ、完成したのが2本針で本縫いを行う技術でした。すぐに特許の手続きを行い、今年の6月に特許として認められました。この他、2つほど特許を申請しています。

日本には技術がある、日本には技術をもった中小企業がたくさんあります。その技術を生かせば、外国にも勝ると私は信じています。

人のため、世のため、そして邑楽町のため。私の挑戦はまだまだ続きます。



特許証を手に「国際特許にも挑戦したい」と話してくれました

人のため、世のため、恩を大切に挑戦すること



荒井 武夫さん
(水立大黒・23区)

あらい・たけお ●1952年生まれ。日本大学卒業。30代のときに邑楽町に移住後、平成5年から超音波発振装置や各種洗浄装置などの製造・販売する会社を経営。自分の分野外の特許を令和元年に取得。趣味は茶道や少林寺拳法、クレー射撃など多彩。愛車はトヨタ2000GT。

・若・者・紹・介・



藤井 翔太さん 18歳
Fujii Shota (光善寺・15区)

■邑楽町は平和!?

平和で住みやすいです。よく駅に自転車を忘れて帰ってきますが、ちゃんとありますし…(笑)。栃木県内の美容専門学校に通う1年生です。

■美容師へのきっかけは?

自分のくせ毛がずっとコンプレックスだったことがきっかけ。YouTubeで見たヘアセットの動画が人生を変えました。くせ毛でもヘアアイロン一つでおしゃれでかっこ良い髪型になれる。もっと勉強したいと思い、この道へ進みました。

■プロと競った大会は…

審査員特別賞を頂きました。ファッションメンズ部門のコンテストに出場し、自信はありましたが、技術がもう一歩でした…。悔しい!でも今は髪のことを考えている時間が一番幸せ。だから勉強というより、趣味を追求している感じなんです。2020年はいよいよ就活。あこがれの美容室が都内にあります。プロの技を盗むために、髪は必ずここで切っています。もちろん将来の自分を想像しながら……(笑)。

